

三三三二一番

冬ふゆごもり 春はるさり来くれば 朝あしたには 白しら露つゆ置おき  
夕ゆふへには 霞かすみたなびく 風かぜの吹ふく 木こ末ぬれが下したに  
うぐひす鳴なくも

三三三二二番

三み諸もろは 人ひとの守もる山やま 本もと辺へには あしはび花な咲さき  
末すゑ辺へには 椿つばき花は咲なく うらぐはし 山やまそ 泣なく  
子こ守もる山やま